

1. 日時

2016年5月8日(月) 14:00~15:00

2. 会場

Department of Internal Affairs(DIA) LQ103

3. 参加者

宮澤 彰 (日本, convenor),
William Leonard (カナダ)
松田 稔広 (日本)
Griffiths Stella (イギリス, chair SC9)
Lagace Nettie (アメリカ, secretariat of SC9)
Carpenter Todd (アメリカ, secretariat of SC9)
Oh Sam (韓国, observer)
Payne Geoffrey (オーストラリア, observer)
Paul Jessop (イギリス observer)

4. 議事次第

Opening of the meeting

ILII のコンビーナを務める宮澤より開会を宣言した。

Roll call of delegates

ILII に関する会議は今回が初開催であり、参加者全員が自己紹介を行った。

Adoption of agenda

ISO/TC46/SC9/WG13 N10 Agenda 案に沿って議事を進めることを確認した。

Current status and the prospect of our draft

まず宮澤より ILII の提案に関するここまでの経緯を説明した。Expert による WD 案の検討は 2015 年 8 月までに終了し、9 月 4 日に Working Draft を SC9 事務局に提出した。その後、手続き上は直ちに CD (Committee Draft) 投票が始まる予定であったが、今に至るまで開始されていない。その原因と今後の見通しについて、SC9 Secretary である Todd Carpenter に確認した。

Todd からは、SC9 事務局スタッフの問題により手続きが遅れたことを謝罪し、できるだけ迅速に進めるべく、今週末にも CD 投票を送付できるようにする旨、説明があった。また SC9 Convenor である Stella より、プロジェクト期間としてはまだ余裕がある旨指摘

があった。

宮澤より Todd に、CD 投票を早めるために WG でできることがあるかと質問し、Todd はこれは事務局側の問題であり、WG としてできることはないと回答した。また、今後の見通しに対する質問に対し、Todd の回答は以下の通りであった、5 月に CD 投票を各国に送付し、3 ヶ月後の 8 月には投票結果とコメントが届き、WG で DIS を用意する。DIS 投票については、指摘やコメント次第であるが、大きな問題がなく 12 月頃に 3 ヶ月投票に入れば、3 月頃に確定する。AFNOR の判断でフランス語版が必要ということになれば、投票期間に翻訳期間 2 ヶ月が加わる。

Any other business

Leonard より、SC9 の Plenary meeting において本件を resolution に加える必要があるか質問があった。Todd より CD 投票を Plenary meeting のある水曜日までに始められれば resolution は不要との回答があり、もし間に合わないようであれば Leonard が resolution に加えるドラフト案を作成、送付し、resolution に加えることとなった。「ドラフト案は、SC9 は secretary に対し、CD20247 の投票を開始するよう指示する」というものである。

Closure of the meeting

他に質疑がなかったため WG は以上で閉会となった。